

第1回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和2年5月8日（金曜） 午前9時30分 開会		
	休 憩 9:36-9:36、10:29-10:40、		
	午前10時55分 閉会		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 梶澤 幸治	委員 立川 美穂	
	副委員長 中村 和宏	委員 渡辺洋一郎	
	委員 正村紀美子	委員 常通 直人	
	委員 鈴木 健充		議長 早苗 豊
欠席委員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名	総務課長 安田 敦史		
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	総務係長 佐藤 史彦	主査 上田 瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 令和2年芽室町議会定例会5月第2回臨時会議の運営について 資料1
- イ 議会だより6月号の編集企画について 当日資料2
- ウ 令和2年度議会活性化計画書・令和元年度 議会活性化計画最終評価書について 資料3
- エ 議会モニターアンケートの実施について 資料4
- オ 令和元年度第3回議会モニター会議について 資料5
- カ 令和元年度議会白書（概要版）について 当日資料6

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件 (1) 調査事項

- ア 令和2年芽室町議会定例会5月第2回臨時会議の運営について 資料1
 - ・総務課長：資料1-1説明。
 - ・中村委員：資料1-2説明。
 - ・委員長：それぞれ提案予定事項について説明あったが、質疑は。

- ・(質疑なし)
- ・委員長：次に審査方法について。
- ・中村委員：資料1説明。
- ・委員長：質疑あるか。なければ以上で決定する。

イ 議会だより6月号の編集企画について

当日資料2

- ・正村委員：資料説明。
- ・委員長：質疑、意見等は。
(異議無し)

ウ 令和2年度議会活性化計画書・令和元年度議会活性化計画最終評価書について

資料3

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：全協では特に意見等はなかったものである。内容・まとめ方などに質疑、意見はあるか。
(質疑無し)
- ・委員長：特に意見等ないようであるので、厚生文教常任委員会の抽出事業等確定次第、確定版としていきたい。またこの内容については、次回全協で報告としていくこととしたいと思うが。
- ・正村委員：確認。全協での報告は、完成してからの報告とするのか。
- ・委員長：完成しだい、報告するものとする。

エ 議会モニターアンケートの実施について

資料4

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：まず内容について。
- ・常通委員：今回のアンケートはこの形で良いのではないか。
- ・立川委員：1点。厚生文教常任委員会の抽出事業のうち公立芽室病院の評価について、4月20日の委員会で議論したとおり、**令和元年度で達成**とするものであるので、**その点は修正を**願いたい。**活性化計画も同様に修正を**。
- ・委員長：送付期日については、次の議件に関係あるので、次で協議したい。

オ 令和元年度第3回議会モニター会議について

資料5

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：まずは、開催の判断について意見を。
- ・立川委員：新型コロナ終息をまって開催を考えるよりは、**集まらない方法**で年度のまとめを行っていく方法が良いのでは。
- ・中村委員：同様の意見であるが、こういう時期であるので、モニターには早い時期にご案内すべきである。集まらない方法で何が議論できるかを考える。
- ・鈴木委員：集まらない方法で考えたい。1・2回目の会議ではモニターからも有意義であるとの見解もいただいているところであるが、昨今の状況を考えると集ま

らない方法で行うべき。

- ・渡辺委員：集まらない方法で行うべき。終息が見えない状況であるので、今、ここで判断するのが良い、
- ・正村委員：十勝では感染数が少ないが、人と距離を置きながら開催することも難しいのではないかと。そろそろご案内をする時期にもなるし、現状では集まらない方法で。
- ・委員長：今回は、集まらない方法で開催することとする。次に、2回目までの議論をまとめて3回目に報告ということであったが、今回はどのようにしてまとめて報告していくか。
- ・立川委員：本来であれば委員会の中で議論を深めたいが、現状では難しい状況。せっかくいただいた意見、第2回目までの成果から、何らか、委員会として一つの協議結果を示すことができたならば良いとは考える。
- ・正村委員：アンケート送付の際に、一緒に資料を送付する。アンケートの中に、最後に「全体を通して、意見をいただく」こととして、それを総括報告書としてまとめるようなことではどうか。
- ・委員長：委員会としてまとめていくことは共通している。アンケートで意見をいただくという意見が出たが。
- ・鈴木委員：2回目の結果をアンケートと一緒に報告していくべき。
- ・委員長：例年であれば先にアンケートを送付して、そのまとめを第3回の資料の一部としているが。まず、アンケートと報告書を分けるのか、正村委員のいうように、アンケートと報告書を一緒に送るのか。
- ・正村委員：政策形成サイクル等の取り組み内容はまとめられているので、これを報告に替えていくことで良いのでは。
- ・委員長：今年度のモニター会議では、抽出事業についてはテーマにしてないし、意見もいただけていないもの。今回のモニター会議では、1回目の意見から4つのテーマに整理し、2回目に臨み、これを各委員会で協議・調査して3回目に臨む、という流れであったはず。本来は4つのテーマについて報告すべきだったはず。3回目で直接報告できないので、それに代えて書面で報告するということであるし、重要な点である。どのようにしていくか。
- ・正村委員：総務経済は2つのテーマとしていて、どちらも調査事項としており、現時点での調査の進捗、内容報告としてまとめることはできるので、期日を設定して報告書とすることはできる。
- ・立川委員：厚生文教は抽出事業とリンクしている点がある。2回目の話し合いの方向が別の課題に向かっていったこともあるので、一度、委員会の中で共有して、報告書作成にもっていきたいと考える。
- ・委員長：いずれにしても、委員会内で整理することが必要になる。このあたりのスケジュール感を考慮して、アンケート発送等を考えていかないと。
- ・常通委員：アンケートと委員会のまとめについては、例年通り、アンケートを先行して行い、それらの結果もまとめて、6月中旬くらいまでに各常任委員会がまとめを行っていければ良いのではないかと。

- ・中村委員：同様に考える。報告資料の中に、本来であれば3回目で報告する内容を掲載するのかもしれないのか、体裁もあるが、まずはアンケートを先行して。
- ・委員長：2つの意見がある。例年通りアンケートを先行して、6月下旬に報告書を送付していく。もう一つは一緒に送付するという事。
- ・正村委員：前回の会議からは日が空いている。その中で、アンケートを送ると、これで終わりではと思われてしまいかねない。それよりは、報告書を送付して、併せてアンケートに答えていただき、それらの回答を今後の委員会調査に反映していくということ。
- ・委員長：例年であれば第3回は、振り返りも含め大事な場面。そうすると、アンケートの中に、そういった設問を設けていく方法もあるかと思うが。
- ・立川委員：モニターの総括書としては1年間の意見も踏まえた結果を含めたものを送るべき。いただいた意見をどのように委員会として届けるのか重要。先行してアンケートを実施して、いく方法が良いのでは。例年とは異なる流れであることを一文、説明として加えて。
- ・鈴木委員：2回目会議の内容について、モニターは、議会がどのように整理しまとめたのか興味があると思う。そこにアンケートだけを送って、2回目の報告がないといかがなものか。2回目の討論の内容を一緒に送付して、アンケートが戻ってきてから、まとめて、最後に報告書としてまとめて送付することで。
- ・委員長：アンケートの中に、1年間のモニター会議を振り返ってという項目を作っていく方法もある。モニターにはしっかりと委員会の調査結果の報告をしていかなければならないのでは。
- ・鈴木委員：丁寧な報告が必要になる。委員長の意見で良い。
- ・委員長：まずアンケートに、1年の振り返り、テーマに対する意見を記載するように項目を追加。アンケート送付期日も、6月上旬くらいに送付するという事もあり得るのではないか。
- ・常通委員：各常任委員会のまとめが終わり次第、送付することで良いのでは。今、確認して、その期日を目途にして送付するのが良い。
- ・委員長：常任委員会のまとめは、いつごろになるか。
- ・正村委員：来週いっぱいには可能である。
- ・立川委員：もう少し時間を要する。19日の週を含めて時間をいただきたい。
- ・委員長：統一した様式をもって報告するのがよい。正副で一度考えたい。また、送付期日は、6月上旬としていくことで。
- ・委員長：アンケートの中に、第3回会議が開催できない点も記載していく必要があるし、アンケート後の処理の流れも記載をして示していく。
- ・委員長：アンケート回収は2週間程度で。

カ 令和元年度議会白書（概要版）について

当日資料6

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：4月末時点でのまとめである。質疑・意見は。
(質疑等無し)

・委員長：今後は体裁を整理して全協に諮っていく。

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

・正副一任。

(2) その他

・なし。

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和2年5月8日

議会運営委員会委員長 梶澤 幸治